

生化学検査について

| 検査項目             | 検査法                | 説明  | 明 |
|------------------|--------------------|---|---|
| A L T (GPT)      | UV method IU/ℓ     | 肝臓に最も多く含まれる酵素です。肝臓がダメージされると血液中に流れ出すので、急性肝炎で最も強く上昇し、慢性肝炎や胆管炎(胆管)などでも上昇します。激しい運動の後は一過性の上昇がみられることがあります。          |   |
| A S T (GOT)      | UV method IU/ℓ     | 心臓や肝臓に多く含まれ、骨格筋、腎臓、血液中にも認められる酵素です。心筋梗塞や急性肝炎、アルコール性肝障害などで上昇します。その他運動の後に一過性の上昇がみられることがあります。                     |   |
| γ-G T P          | Rate Assay IU/ℓ    | 肝、胆管、膵、腎などに多く含まれる酵素です。上昇する状態は胆管性異常、肝臓、アルコール性肝障害などです。病変がなくても年齢の若者での上昇することが多く1ヶ月程度続くことがある症例も報告されています。           |   |
| 総蛋白 TP           | near method g/dℓ   | 血液中には総蛋白以上の蛋白質が含まれ、種々の機能をもち、生命維持に大きな役割を果たします。その総量を総蛋白として測定しています。  |   |
| アルブミン ALB        | Bio method g/dℓ    | 血清蛋白の50%以上を占めるアルブミンは、病変などで栄養が乏しくなると減少するため、栄養状態のスクリーニングとして大きな意味があります。  |   |
| アルブミン対グロブリン比 A/G |                    | 血清蛋白はアルブミン(A)とグロブリン(G)に分けられ、その比率は健康な人では一定の範囲にあります。病変によってはその比率が変化(主として減少)してきます。                                |   |
| コレステロール CHOL     | Enzyme assay mg/dℓ | 血清脂質の一つで、一般に脂肪の多い食事を取っていると上昇します。また肝臓などで作られ、肝、胆管、膵、甲状腺の疾患でその値が上下することがあります。血清コレステロールが多くなると動脈硬化を促進しやすくなるとされています。 |   |

血球計数検査について

| 検査項目                 | 単位                      | 説明  | 明 |
|----------------------|-------------------------|---|---|
| 赤血球数 (RBC)           | $\times 10^4 / \mu\ell$ | 赤血球は血液の主成分で、酸素を肺から各細胞へ運ぶ働きを持っています。  |   |
| ヘモグロビン量 (Hb)         | g/dℓ                    | 血液の赤い色は赤血球に含まれるヘモグロビン(赤色素)によるもので、赤血球の働きの中核となっています。  |   |
| ヘマトクリット値 (Ht)        | %                       | ヘマトクリット値(一定量の血液に対する赤血球の割合(容積))をパーセントで表したものです。   |   |
| 平均赤血球容積 (MCV)        | fℓ                      | 赤血球1個の平均的容積。それぞれの赤血球の大きさの指標となるもので、赤血球数とヘマトクリット値から算出したものです。  |   |
| 平均赤血球ヘモグロビン量 (MCH)   | pg                      | 赤血球1個に含まれるヘモグロビン量を平均的に表したもので、赤血球数とヘモグロビン量から算出したものです。  |   |
| 平均赤血球ヘモグロビン濃度 (MCHC) | %                       | 赤血球の一定容積に対するヘモグロビン濃度をパーセントで表したもので、ヘモグロビン量とヘマトクリット値から算出したものです。                                       |   |
| 白血球数 (WBC)           | $\times 10^2 / \mu\ell$ | 白血球は細菌などを貪食し、免疫機能を行使し、さらに免疫反応を発生して主体防御にかかわっています。感染症などがあると一過性白血球数は増加しますが、ウイルス感染症の場合はかえって減少することもあります。 |   |
| 血小板数 (PLT)           | $\times 10^4 / \mu\ell$ | 血小板は止血を止めるための重要な働きを持ち、この値が低下すると出血を起しやすくなります。  |   |

\*検査項目①～③の値は貧血の有無を知る目安となり、貧血の割合、検査項目④～⑥の値がその種類の判定の目安となります。

これらの検査項目で、あなたが健康であるか否かを判断することはできません。 99.04.01

ウコン茶を朝晩一本ずつ2ヶ月間

飲んだ結果、GPT、GOT、γ-GPT  
及びコレステロールが全て標準値に  
戻りました。  
ちなみに「晩酌は欠かさない」そうです。

0 631 04164  
31-07881414 H11/06/01 31-0324-6976 0

愛知県赤十字血液センター

〒489-8555 瀬戸市南山口町539-3  
TEL (0561) 84-1131

愛知県豊橋赤十字血液センター

〒441-8083 豊橋市東脇3-4-1  
TEL (0532) 32-1331

- ご案内は内側にあります。ここから、ゆつくりとはがしてご覧ください。
- 水に濡れている場合は、乾いてからはがしてください。

I. 血液型のお知らせ

血液型はご自身で献血手帳にご記入いただくか、この通知書を次の献血時にお持ちいただければ血液センターで血液型印を押印いたします。

あなたの血液型は ABO式 **O** Rh式 **プラス** です。

▶ 献血手帳にご記入ください。

献血者コード **31-07881414**

II. 検査成績のお知らせ

この生化学検査は、性別、年齢、食事などによって差が出てくる場合がありますので、あらかじめお読みください。400ml献血、成分献血にご協力いただいた方に、生化学検査に加えて血球計数検査を実施しております。

|           |              |      |              |
|-----------|--------------|------|--------------|
| 献血年月日 (前) | H11年 06月 01日 | 採血番号 | 31-0324-6976 |
|           | H10年 06月 01日 |      |              |

| 200me・400me・成分献血者     |                  |                   |       |       |
|-----------------------|------------------|-------------------|-------|-------|
|                       | 検査項目             | 標準値 <sup>1)</sup> | 今回の値  | 前回の値  |
| 生<br>化<br>学<br>検<br>査 | ALT (GPT)        | 5~45 IU/ℓ         | 37 ←  | 130#  |
|                       | AST (GOT)        | 11~37 IU/ℓ        | 32 ←  | 72#   |
|                       | γ-GTP            | 10~65 IU/ℓ        | 60 ←  | 162#  |
|                       | 総蛋白 TP           | 6.5~8.2 g/dℓ      | 6.6   | 7.4   |
|                       | アルブミン ALB        | 3.9~5.0 g/dℓ      | 4.4   | 4.2   |
|                       | アルブミン対グロブリン比 A/G | 1.2~2.0           | 2.0   | 1.3   |
| コレステロール CHOL          | 110~250 mg/dℓ    | 153 ←             | 252#  |       |
| 採血種類                  |                  |                   | 400ml | 400ml |

| 400me・成分献血者                |                    |  |      |      |
|----------------------------|--------------------|--|------|------|
|                            | 検査項目               | 標準値 <sup>1)</sup>                                | 今回の値 | 前回の値 |
| 血<br>球<br>計<br>数<br>検<br>査 | 赤血球数 RBC           | 男性 425~570<br>女性 375~500 $\times 10^4 / \mu\ell$ | 491  | 496  |
|                            | ヘモグロビン量 Hb         | 男性 13.3~17.4<br>女性 11.2~14.9 g/dℓ                | 15.5 | 16.0 |
|                            | ヘマトクリット値 Ht        | 男性 39.0~50.4<br>女性 34.0~44.0 %                   | 45.5 | 45.6 |
|                            | 平均赤血球容積 MCV        | 80.0~100.0 fℓ                                    | 92.7 | 91.9 |
|                            | 平均赤血球ヘモグロビン量 MCH   | 26.0~34.0 pg                                     | 31.6 | 32.3 |
|                            | 平均赤血球ヘモグロビン濃度 MCHC | 32.0~36.0 %                                      | 34.1 | 35.1 |
|                            | 白血球数 WBC           | 35~100 $\times 10^2 / \mu\ell$                   | 67   | 68   |
|                            | 血小板数 PLT           | 14.0~38.0 $\times 10^4 / \mu\ell$                | 24.0 | 22.3 |

1) 上記の標準値は、献血を希望された方々の検査結果から算定したもので、正常または異常を表すものではありません。  
\*表示のある方は、検査用検体の不良等で検査することができませんでした。  
#表示のある方は、標準値からはずれていますので医療機関での受診をお勧めします。  
検査項目の説明は裏面に印刷してありますのでご覧ください。